

アフガニスタン17年 中村哲医師に聞く

大干ばつによる餓死をくいとめたい

アフガニスタンで診療所を開設し、医療活動を行っている中村哲医師が一時帰国。一〇月一日に、「アフガンは今 中村哲医師からの報告会 その2」が衆議院議員会館で開かれた。中村さんは、「正しい情報で判断し、考えているのか一抹の不安を覚える」「日本の市民が出来ることはまず現実を知ることだ」と話した。

中村哲さん

パキスタン・ペシャワールに1984年に赴任以来、17年間、ハンセン病を中心に医療活動を行っている。現在、アフガン山岳部に3カ所の診療所を開設運営し、カブールに5カ所、さらにパキスタン山岳地帯にも2カ所の診療所を開いた。医療スタッフは200人を超え、年間18万人を診療する。「今年度は30万人を超えるだろう」という。また、3年前にパキスタンとアフガニスタン国内の診療所を統合した70床のPMS（ペシャワール・メディカル・サービス）をペシャワールに建設した。

アフガニスタンは現在、大干ばつに襲われている。昨年五月から国連機関を通じて世界中に伝えられたにもかかわらず関心をもたれなかった。アフガニスタンの大都市にいたるほとんどが干ばつ難民といえる。主に自給自足の人びとだが、例年農業生産力の八割以上が壊滅的状態だ。

アフガニスタンは山の国。五〇〇〇級級の巨大な山脈が広がり、住民は山間の谷に住んでいる。パキスタンとアフガニスタンの国境付近に、ペシャワールという都市があり、私はそこを起点に医療活動を行ってきた。

ペシャワール会

中村哲医師を支援するために1983年に発足したNGO。募金、広報、ワーカー派遣などの活動を行っている。

年会費 3000円
郵便振替 01790-7-6559
「ペシャワール会」

難民を出さないのが先決



診療に、水源確保に力を注ぐ中村医師（右から2人目）、「難民を出さぬ努力」を続けている

一番遠い診療所は歩いて一週間ほどかかる。医療活動は、いかに現地の人を理解するか努力の一七年間につぎくる。医師の仕事は信頼感が大切。臨床医というのは患者が何を悲しく思うかなどを理解していかないといけない。日本人にとっては合入れない風習やものの考え方の場合もある。

女性にブルカ（目だけ出して顔を覆うベール）をかぶせるのはセクハラ

といわれるが、これはアフガニスタンだけでなく、一般のイスラム教徒の風習。いい悪いは別として自分たちの文化の尺度で、違ったものを裁断してしまうのはいけないことだ。

アフガニスタン赴任後の八五、八六年はソ連軍が侵攻し、内戦の激しい時期だった。私は難民キャンプで細々と診療していたが、ライ（ハンセン病）が多いところは他の感染症も多かった。結核、デング熱、腸チフス、マラリアなど感染症の多いところは医者はいない山間の寒村であり、ペシャワール側で医療スタッフを育て、北東部の山岳地帯の調査を始めた。

干ばつが起きてから患者の数が増えた。特に子

国会議員の質問に答えて（抜粋）

- * 日本での国際貢献は、砂漠化防止に全力をあげること、まず大量難民をださないこと
- * 解決はより穏健な勢力が権力につくことだ。それに代わるのも現時点ではタリバン。タリバンは悪で正義の米国という一辺倒な捉え方はできない
- * アフガニスタンでの平和を求める声がさらに大きくなることが平和的解決への道

どもの犠牲が多い。赤痢やコレラがはやった。原因は水不足だった。診療所付近は水源が干涸び、飲み水がなくなってきた。診療所周辺が砂漠化してきている。

病気は後で治せるから、ともかく生きていて、と水源確保事業に取り組んだ。現在五〇〇を超える水源を確保し、五四カ村、二五、六万人の住民を防いでいる。一つの水源で村が生き残れることは珍しいことではない。そうしたときにテロ事件がおきた。私たちはなんとしても水源確保事業と診療を続けたいと思っている。

私たちが持っている情報は、カブール市内とジャラバードだが、住民が立ち上がり、ヒステリックな反米デモが起きていくわけではない。カブールでは市民の生活は続いている。診療活動も続いている。その実、次の恐怖は飢餓だ。食べ物がない。もも自分がリーダーなら小麦粉をトラックで運ぶだろう。

アフガンに外国人は入れない。カブール市内にミッション（使者）を送り、一人の餓死者も出ないようにカブールで食料配布を始めた。配布のノウハウを私たちは良く知っている。世界食糧計画（WFP）が入るまでの数カ月、我々がやって行くつもりだ。

（まとめ・牧田真由美）

首都カブールは内戦状態が続く。廃墟のようだが、それでも人びとの生活は営まれている。物はある程度流れているが購買力がない。カブール市内全体が巨大な難民キャンプと化し、お金持ちがペシャワールや欧米に流れている。難民にもなれない人びとがそこに暮らしている。